

【高齢者疑似体験】

R4.9.12

6年生が総合的な学習の時間に「高齢者疑似体験」を行いました。

サポーターやおもり、ゴーグルなどの疑似体験セットを装着し、ペアの子に補助してもらいながら、階段を行き来したり、本を読んだりします。「視界が狭くて見にくい。」「足が思うように上がらない。転びそうになった。」など、体験を通し、高齢になったときの大変さや補助の難しさを実感しました。

